



N.Inaba

THE ARLINGTON CUP

第33回 アーリントンカップ (GⅢ)

本 賞 41,000,000円 1着 2着 3着 4着 5着
付加賞 567,000円 162,000円 81,000円 6,200,000円 4,100,000円



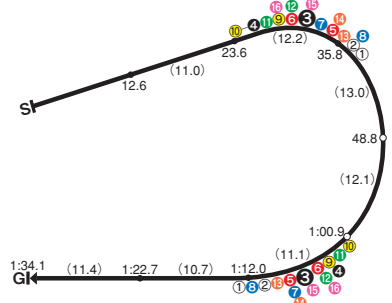
レース映像は
コチラでご覧
いただけます。

3歳
負担重量 馬齢重量

2024.4.13 阪神 晴・良 芝1600m (国際) (推定)

順	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム (管差)	コーナー 通過順位 (600m)	上り 600m (増減)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	③	ディスペランツァ	牡 3	57	J.モレイラ	1:34.1	8-8	32.4	514(-6)	3.2(1)	吉岡辰弥(栗東)	110
2	②	アレンジャー	牡 3	57	横山典弘	1/2	2-3	32.9	460(-2)	176.0(8)	昆 貴(栗東)	109
3	⑦	チャンネルトンネル	牡 3	57	坂井瑠星	ハナ	7-5	32.5	476(-4)	6.6(4)	福永祐一(栗東)	109
4	⑨	ワルズエンド	牡 3	57	B.ムルガエフ	1/2	12-13	32.1	462(-2)	21.6(8)	池添 学(栗東)	108
5	①	ポッドテオ	牡 3	57	北村宏司	1/4	1-1	33.5	464(-6)	24.0(7)	畠山吉宏(美浦)	
6	⑤	オフトレイル	牡 3	57	武 豊	クビ	8-8	32.8	436(-4)	9.6(5)	吉村圭司(栗東)	
7	⑩	タイキヴァンクール	牡 3	57	幸 英明	ハナ	2-2	33.4	502(-6)	87.1(2)	中尾秀正(栗東)	
8	③	ジュンヴァンケット	牡 3	57	岩田望来	1/4	4-4	33.3	460(-4)	3.7(2)	友道康夫(栗東)	
9	⑤	シヴァース	牡 3	57	川田将雅	1/2	5-5	33.3	440(+2)	4.6(3)	友道康夫(栗東)	
10	⑥	タガノデュード	牡 3	57	古川吉洋	3/4	12-10	33.0	482(±0)	37.4(9)	宮 徹(栗東)	
11	⑭	ケイケイ	騾 3	57	岩田康誠	2/2	5-5	33.7	456(-8)	71.9(10)	杉浦宏昭(美浦)	
12	⑪	セレスト	牡 3	57	川端海翼	アタマ	14-15	33.0	426(±0)	573.4(10)	羽月友彦(栗東)	
13	⑫	アスクワンタイム	牡 3	57	松若風馬	1	10-10	33.5	454(-4)	74.6(11)	梅田智之(栗東)	
14	⑥	グローリーアテン	牡 3	57	松山弘平	1	10-10	33.6	488(-4)	123.3(13)	金成貴史(美浦)	
15	④	シンドリームシン	牡 3	57	浜中 俊	クビ	15-13	33.5	494(+22)	137.0(14)	武幸四郎(栗東)	
16	⑩	トップオブザロック	牡 3	57	M.デム・ロ	大差	16-16	35.6	492(-8)	33.2(9)	石坂公一(栗東)	

単勝③320円(1[△]△) 複勝③160円(1[△]△) ②1,960円(15[△]△) ⑦220円(4[△]△) 枠連①-②2,460円(13[△]△)
馬連②-③24,930円(51[△]△) ワイド②-③6,980円(57[△]△) ③-⑦450円(3[△]△) ②-⑦9,400円(65[△]△)
馬単③-②37,350円(82[△]△) 3連複②-③-⑦35,950円(101[△]△) 3連単③-②-⑦211,800円(540[△]△)



通過タイム : 600m 800m 1000m 上り : 800m 600m
35.8 - 48.8 - 1:00.9 45.3 - 33.2

アラカルト

- ・J.モレイラ騎手はアーリントンC初勝利。JRA重賞は本年3勝目、通算12勝目
- ・吉岡辰弥調教師はアーリントンC初勝利。JRA重賞は本年2勝目、通算4勝目
- ・ルーラーシップ産駒はJRA重賞通算32勝目
- ・ディスペランツァ、アレンジャー、チャンネルトンネルはNHKマイルC(GⅠ)に優先出走できる

ディスペランツァ Di Speranza

牡 鹿毛 2021.3.2生
北海道浦河町 谷川牧場生産
馬主・南ターフ・スポーツ 栗東・吉岡辰弥厩舎
馬名意味・希望の光(伊)。勝ち続け、クラブの希望の光となつてほしい

ルバンII USA系 F11

ルーラーシップ 鹿毛 2007	キングカメハメハ 鹿毛 2001	Kingmambo マンファスIRE
	エアグルーヴ 鹿毛 1993	トニービンIRE ダイナカール
	Medaglia d'Oro 黒鹿毛 1999	El Prado Cappucino Bay
	Promising Lead 鹿毛 2004	Danehill Arrive

5代までのインブリード：Northern Dancer S5×M5×M5

INTERVIEW

谷川寿郎 専務(谷川牧場)

優等生すぎて逆に心配になるほどでした

馬の能力は信じていましたが、まさかあの位置から届くとは思っていませんでした。凄いい脚を使ってくれた馬とモレイラ騎手、そして吉岡厩舎の皆様に感謝いたします。牧場時代はピリッとした面のある姉兄とは違いおとなしい性格をしていて、調教の動きも申し分ないぐらゐの優等生で、逆に心配になるほどでした。このまま無事に走り続けてほしいと願っています。

S.Katsura



ルーパーシップの産駒で、昨年の共同通信杯を勝ったファントムシフの半弟にあたる本馬は、初陣から一貫して芝2000m戦に使われ、デビュー2戦目に初勝利。その後は京都2歳S(6着)、ホープフルS(9着)と中距離重賞を転戦し、2歳戦を折り返した。3歳を迎え、マイル路線に照準を定め直すところ、資質が大きく花開き、強烈な末脚を印象付けて1勝クラス戦、重賞を連勝。後日、2歳王者ジャンタルマンタルの参戦も決まったNHKマイルCへ勇躍、駒を進める。

父ルーラーシップ

北海道安平町 ノーザンファーム生産 詳細はP.6参照

母ルバンII USA

英2戦0勝。18年輸入

ルピナスリッド(19 牝父ダイワメジャー)中央14戦4勝(北陸S)

ファントムシフ(20 牝父ハービンジャーGB)中央8戦3勝(共同通信杯^{GIII}、野路菊^S、皐月賞^{G1}3着、神戸新聞杯^{GII}3着) 母

ディスペランツァ 本馬(21 牝父ルーラーシップ)中央6戦3勝(アーリントンC^{GIII})獲得総賞金55,587,000円

ギフテッド(22 牝父モーリス)

(23 牝父キズナ)

(24 不受胎)

祖母プロミシングリード Promising Lead

イギリス産 愛、英、仏4勝(プリティポリスS・愛^{G1}、ミドルトンS・英^{G3}、アップエイヴォンフィリーズS・英L、オペラ賞・仏^{G1}2着、マイケルシリーメモリアルフィリーズS・英L2着)

ヴァイタルエヴィデンス Vital Evidence(10 牝父Empire Maker)英2勝サーシングル Surcingle(11 牝父Empire Maker)英1勝、サッシュ Sash

(ロスアラミトススペシャルS・米2着、パークリーH・米^{G3}3着)の母アコースティック Acoustic(13 騾父Tapit)北米2勝

ルバンII USA(14 前出)

ファーストレスポンス First Response(15 騾父First Defence)愛、英3勝

曾祖母アライヴ Arrive

イギリス産 英、仏3勝(バーレントロフィー・英L)

プロミシングリード Promising Lead(04 前出)

ヴィジット Visit(05 牝父Oasis Dream)英、北米2勝(オークツリーS・英^{G3}、プリンセスマージェットS・英^{G3}、イエローリボンS・米^{G1}2着、ゲイムリーS・米^{G1}2着、メイトリアークS・米^{G1}3着、BCフィリー&メアターフ・米^{G1}3着、サンチャリオットS・英^{G1}3着、サンタアナH・米^{G2}3着)、ウェスタンリザーヴ Western Reserve(ウォリアーヴェテランズS・米L、パディディールベルトメモリアルS・米、カーネルERブラドリーS・米^{G3}2着、オータムS・加^{G2}3着)の母

リヴィアド Revered(07 牝父Oasis Dream)英1勝、コメモラティヴ Commemorative(オータムS・英^{G3})の母

プレッシャーポイント Pressure Point(10 騾父Oasis Dream)英、バーレーン8勝

爆発的な末脚を繰り出して重賞初制覇

2歳女王アスコピチエーノが2着に惜敗した桜花賞の翌週、NHKマイルCへの参戦を表明。例年以上の賑わいに包まれてきた3歳マイル王の座を巡る争いにまた1頭、楽しみな新星が名乗りをあげた。上位馬3頭に本番への優先出走権が与えられる関西のトライアル・アーリントンCは、ディスペランツァが1番人気の支持に心えて快勝。同舞台の1勝クラス戦に続いて爆発的な末脚を繰り出し、有力候補の1頭に急浮上した。

最内枠から意欲的に飛び出したボツドテオが、隣枠のアレンジャーを従えて先手を奪取。後続の各馬は折り合いに専念し、見るからに遅い流れでレー

スに進む。既走馬相手の末勝利戦を豪快に差し切り、キャリア1戦ながら2番人気に支持されたジュンヴァンケツトは、頭を上げて行きたがりながら4番手を追走。3番人気の支持を集めたきさらぎ賞の3着馬シヴァースが直後の内につけ、ディスペランツァのJ・モレイラ騎手はその背後、中団のインで末脚を温存した。

迎えた直線、スローペースを利用して逃げ粘るボツドテオを好位勢がかわしにかかり、残り200m地点ではアレンジャーが先頭に躍り出る。ここでもまだ、馬場の真ん中へ持ち出してようやく進路を確保できたところ、前からは馬身近く水をあげられていたディスペランツァだったが、エンジンに火がつくと抜群の瞬発力を披露。押し切り寸前のアレンジャーを一気に捉え、大逆転の勝利を飾った。

ルーラーシップの産駒で、昨年の共同通信杯を勝ったファントムシフの半弟にあたる本馬は、初陣から一貫して芝2000m戦に使われ、デビュー2戦目に初勝利。その後は京都2歳S(6着)、ホープフルS(9着)と中距離重賞を転戦し、2歳戦を折り返した。3歳を迎え、マイル路線に照準を定め直すところ、資質が大きく花開き、強烈な末脚を印象付けて1勝クラス戦、重賞を連勝。後日、2歳王者ジャンタルマンタルの参戦も決まったNHKマイルCへ勇躍、駒を進める。